

記載例

農地法第3条の規定による許可申請書

令和 年 月 日

田村市農業委員会会長 様

当事者

<譲渡人>(設定人)

住所 田村市〇〇町〇〇字〇〇番地

氏名 田村太郎 印

<譲受人>(被設定人)

住所 田村市〇〇町〇〇字〇〇番地

氏名 田村耕作 印

下記農地(採草放牧地)について { 所有権
賃借権
使用貸借による権利
その他使用収益権() } を { 移転
設定(期間 年間) }

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。設定の場合は、期間を記入して下さい。)

1 当事者の氏名等(国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。)

当事者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格又は特別永住者
譲渡人	田村太郎	50	農業兼会社員	田村市〇〇町〇〇字〇〇番地 (電話番号 0247-〇〇-〇〇)		
譲受人	田村耕作	55	農業	田村市〇〇町〇〇字〇〇番地 (電話番号 0247-〇〇-〇〇)	日本	—

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃料 等の額(円) [10a当たりの額]	所有者の氏名 又は名称 <small>(現所有者の氏名又は 名称(登記簿と異なる 場合)</small>	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
	登記簿	現況				権利の 種類、内容	権利者の氏名 又は名称
田村市〇〇町〇〇字 〇〇番1 〇〇番2 筆数が多い場合は 別紙に記載する。	田	田	300	180,000	田村太郎		
	畑	畑	500	300,000	田村太郎		
				[/10a]	[]		

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

(所有権の移転時期) 許可日・許可日後・または令和〇〇年〇〇月〇〇日

(契約の内容) 所有権の移転(売買・贈与・交換)、使用貸借(〇〇年)、賃借権(〇〇年)

(譲り受ける理由) 耕作条件向上のため・営農規模拡大のため・一括贈与を受け農業経営に精進するため 等

(記載要領)

- 1 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付(独立行政法人及び地方公共団体を除く。)してください。
- 2 国籍等は、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の45に規定する国籍等(日本国籍の場合は、「日本」)を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国(内国法人の場合は、「日本」)を記載してください。
- 3 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 4 記の3は、権利を設定又は移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。